



大学の近くにある Wilson Park という公園

円安が非常に辛いです。授業に慣れてきたのと試験を何回か経験したので、学業を中心に書きました。前回の定期報告で言っていた心理学については書きませんでした。

1)気温 2)授業 3)試験 4)成績 5)サークル 6)食事 7)総括

### 1)気温について

10月も終わりに近づき、かなり寒くなってきました。一日の寒暖差が大きく、朝(~9時)は0°Cほどの寒さでも、日中は20°C近くまで上がったりします。脱ぎ着しやすい格好がいいと思います。日ごとの寒暖差も大きく、昨日は肌着と暖かい上着が必要だったのに今日は半袖でも過ごせるぐらい、というようなこともあります。非常に乾燥しているので、ハンドクリームやリップを持参すると良いと思います。ちなみに、大学内の施設のエアコンは多くの場合 20~21°C (68°F~70°F)に設定されているので、真夏(~33, 34°Cぐらい)でも建物の中は上着なしだとかなり寒いです。特にルームメイト

がアメリカ人の場合はまずエアコンの設定温度は合わないと思うので、暖かくて着やすい部屋着があるといいと思います。これはエコ意識とか個人の好みの違いとかでなく、髪の色が違うとか目の色が違うとかのレベルの違いなので、エアコンが寒いのは仕方ないです。私も、もし暑い国から来たルームメイトが真夏にエアコンを 32℃とかに設定していたらやってられないと思います。

## 2)授業について

前回の報告にもあるように、Academic Writing, General Psychology, General Sociology, Introduction to Cultural Anthropology という4つの授業を取っています。どの授業も聴講型で、ディスカッションなどで他の生徒と話したり全員の前で発言したりする機会はそんなに多くないです(Academic Writing は少しあります)。どの授業も初週は満席だったのが回を経るごとに出席人数が減っていき、今は初めの7割ぐらいの人数に落ち着きました(履修取り消しの関係だと思います)。General Psychologyの授業は月水金 16:10-17:00 の日程ですが、土日にアメリカンフットボールの試合がある場合(特に他州で行われる場合)や、月曜日が祝日だったりする場合は、金曜日の出席人数が6、7人ぐらいです(満席で50人ぐらいで、通常は15人ぐらい)。発言しやすくなるので個人的にはありがたいです。

ノートについて、パソコンでノートを取っている人が多いですが、紙のノートで取っている人もいます。私が取っている授業は全て先生が講義スライドや授業の録音(Zoom)を Blackboard というサイト(講義資料やシラバス、試験などは全てこれを通して確認します)にアップロードしてくれるので、必ずしもノートを取る必要は無かったりします。これは特に留学生にとっては非常にありがたいです。ただ、もし先生が講義スライドをアップロードしない人だったとしても交渉すれば講義スライドを貰えると思うので、授業の進行に合わせてノートをとることが難しい場合は聞いてみると良いと思います。

## 3)試験について

私が取っている授業で Academic Writing 以外は、試験(Exam)が学期ごとに3~5回あります。回数が多く、また試験以外にも小テスト(Quiz)が毎週のようにあるので、テスト勉強の時間の確保が非常に大変です。試験が近づくと、先生がテスト勉強の参考

ガイド(Study Guide)を出してくれるので、それに則って勉強すれば高得点が取れるというようになっています。私はあまり使ってないです。授業が全て入門用の授業ということもあり記述問題は無く、試験は全てパソコンで問題文に適しているものを選ぶ4択問題になっています。4択が一番多いですが実際は2~6択の問題もあり、「上記選択肢の全て」「上記選択肢のどれでもない」「AとB」「AとC」などの選択肢もあるため、結構難しいです。パソコンで行うので試験はどこで受けてもよいという授業もありますが、先生によっては教室以外では認めない場合もあるので、試験場所の確認は必須です。私は教室で受けられる試験は全て教室で受けるようにしています。受講生の平均点は100点満点で大体75~80点ぐらいのイメージです。また、多くの授業で試験が近づく、あるいは終わったタイミングで成績の加点になる追加課題(Extra Credit)が出されます。これは任意ですが、できるだけ取得するようにしておいた方がよいと思います。とにかく勉強量が多いですが、テスト勉強のガイドの存在だったり試験の間隔の短さなど、特に1,2年生向けの授業ということを考えても、ただ勉強するだけでなく勉強の方法も含めた勉強習慣を身に着けたうえで3,4年生で高度な研究を行う、というような方針の表れなのかなと思います。

#### 4)成績について

成績は島根大学のように学期終わりに一気に成績が公開されるのではなく、自分がそれまでに何点獲得したのかを、Blackboardで常に確認できます。例えば満点が600点で100点満点の試験が5回、20点満点の小テストが5回の授業で、試験2回(85点、80点)と小テスト2回(10点、15点)、追加課題(10点)を1回終えた現在、200点を獲得している、という風になります。そうやって授業の終わりまで自分の得点を積み重ねていくイメージです。満点は授業によって変わりますが、約90%以上でAがとれるので、600点満点の場合は540点を目指していくことになります。成績の評価方法は必ずシラバスに詳しく載っています。成績だけでなく、試験や小テストの日程、オフィスアワー、先生のemailなど、全ての重要事項はシラバスに記載されているので、プリントして常に手元に置いておくことをお勧めします。

#### 5)サークルについて

サークル活動はRegistered Student Organization (RSO)という名前で、400以上の団

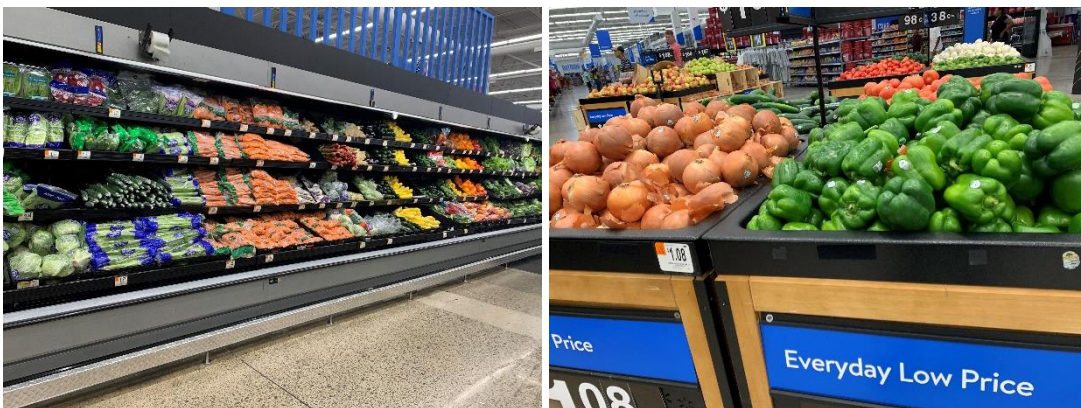
体があり、以下のサイトから探すことができます(URL: <https://hogsync.uark.edu>)。多くの団体が 8 月下旬~9 月上旬辺りに初回ミーティングを行うため、興味のある団体は早めに連絡をして初回ミーティングの場所や時間を確認しておくことをお勧めします。日本人や日本語を学んでいる学生の団体や留学生が交流する団体、各種スポーツの団体など、多種多様な団体があります。

## 6)食事について

週 10 回のミールプランから、1 学期で 80 回のプランに変更しました。オンキャンパス寮(大学キャンパス内にある寮)の場合はミールプランへの加入が必須なようですが、オフキャンパス寮(大学キャンパス外にある寮)の場合は必須ではないようです。ミールプランはオンキャンパス寮用のプランとオフキャンパス寮用のプランの 2 つがあり、以下のサイトで確認できます。

(URL: <https://housing.uark.edu/live-here/dining-information-and-rates.php>)

私は自炊をできるだけするようにしていますが、食材は全て Walmart で購入することができます。醤油やみりんなどの調味料も売っているので(割高です)、和食を作ることができます。ただお箸は売っていないので、調理用、食事用それぞれで持って行くことをお勧めします。お箸は調理用具としても非常に優秀だったということに気づきました。私は持って来ていません。野菜やお肉を購入する際は、値段が 1LB あたり(ポンド。約 454g)や 1oz あたり(オンス。約 28g)、あるいは EA(Each。個数ごと)で決められているので、確認しておかないと思いがけず購入金額が高くなったりします。



Walmart の野菜コーナー

## 7)総括

正直授業が本格的に始まってからは、課題や小テスト、試験の勉強に追われる毎日で、休日でもあまりゆっくりできていません。これからは長時間勉強するより、短時間集中して勉強するというように、メリハリをつけることを意識しながら過ごしていこうかなと思います。



大学から少し離れた場所にある Lake Fayetteville 大学のアメフトチーム Razorback をモチーフにした車